

## 法人化の設立 及び ロゴマーク を決定、

## 3/17に補助申請書 を提出

### ■第5回中荘地区まちづくり協議会ワークショップ開催

各大字から選出された委員をもって、第5回中荘地区まちづくり協議会ワークショップが平成29年3月12日（日）午後7時から宮滝河川交流センターで開催されました。



- 一 次 第 一
1. 開会 榎本会長挨拶
  2. 吉野町側紹介
  3. 協議事項
    - ①平成29年度補助金概要等について
    - ②法人化の設立にむけて
    - ③ロゴマークの決定について
    - ④2グループ編成での討議
  4. 閉会 南阪本副会長挨拶

榎本会長の挨拶、吉野町側出席者の紹介後、協議が行われました。

最初に、町事務局細川氏から平成29年2月27日に明らかになった平成29年補助金概要の説明後、補助申請の手続き説明、当該補助申請の構成員の確認が行われました。

補助申請の書面については現在作成中ですが、この3月17日に提出が必須なため、当該補助申請の最終内容は会長一任となりました（3月15日会長、副会長、事務局で内容確認済）。

次に、補助金の内容変更に伴い、事業を進めるには法人格が要

- 補助金の主な変更点
- 実施期間：5年 ⇒ 2年
  - 実施主体：個人 ⇒ 法人
  - ソフト面、ハード面同時進行可
  - 構成員の所有物に限定
  - 以前提示した活動内容と今後の計画3項目の内、活動計画策定のみ不可

件となり、取り急ぎ法人化の設立を行うことを協議し了承されました。ただし、どのような法人にするかは今後の議論を重ねていくことになります。

次に、当該協議会のロゴマーク及のぼり（旗）について、事務局から各2案提示され、議論の結果、多数決で決めました。またシールのデザインも決めました。

《ロゴマーク》



様々な色で7つの実りが虹にまじり未来に輝く笑顔として  
元気、未来、明るい地域の食料を表現。

《のぼり(旗)》



のぼり（旗）は今後、イベント等に利用

最後に、A班：遊休耕作地の再利用や名産品の開発等、  
B班：観光誘致やイベント等

の2グループ編成での討議を行いました。各メンバーは、予め事務局では決めずに当日参加者の自主性に判断を委ねることにしました。

《A班での討議模様》



《B班での討議模様》

